

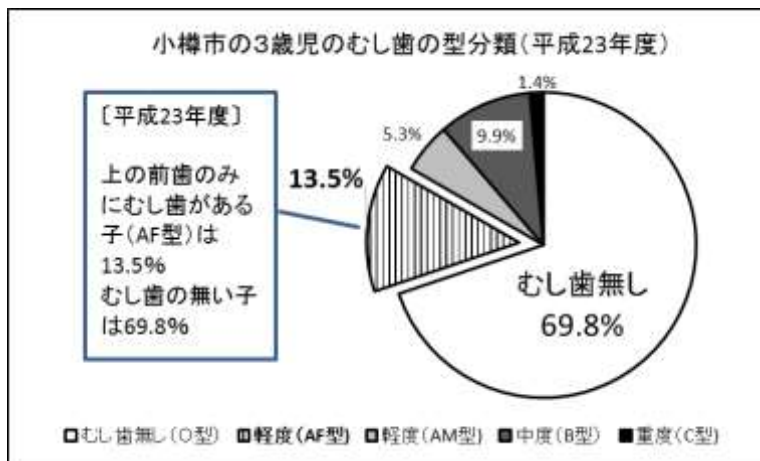
# 歯間清掃用具が大好き!



～親子で歯間清掃用具を使いましょう～



ここ5年間の「ある取組」により、小樽の子どものおし歯が減りました。



「ある取組」とは何でしょう?

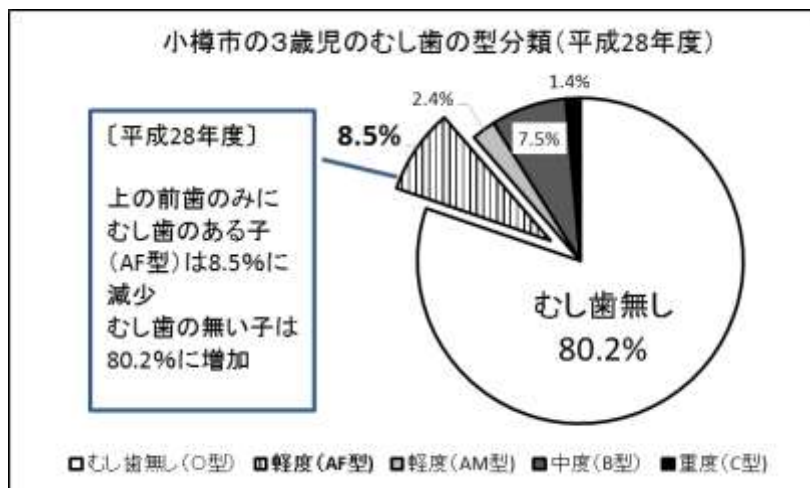
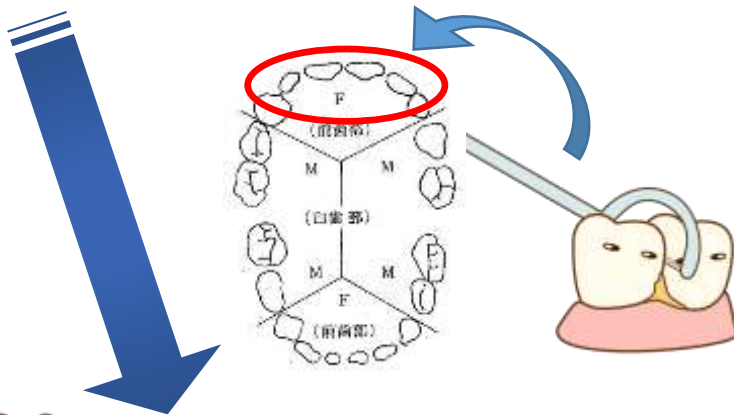
それは・・・

**1歳から上の前歯に糸ようじを使うことです。**

1歳児といえば、仕上げ磨きが大嫌いなお年頃。「歯ブラシもできないのに、糸ようじなんてとても無理」とのお声も数多くいただきます。

そのような状況でも、日々の我が子への仕上げ磨きに糸ようじを取り入れていただいている御家庭が増えました。

5年経過した現在、上の前歯のおし歯は減少してきました。



# 1歳になったら糸ようじ♪



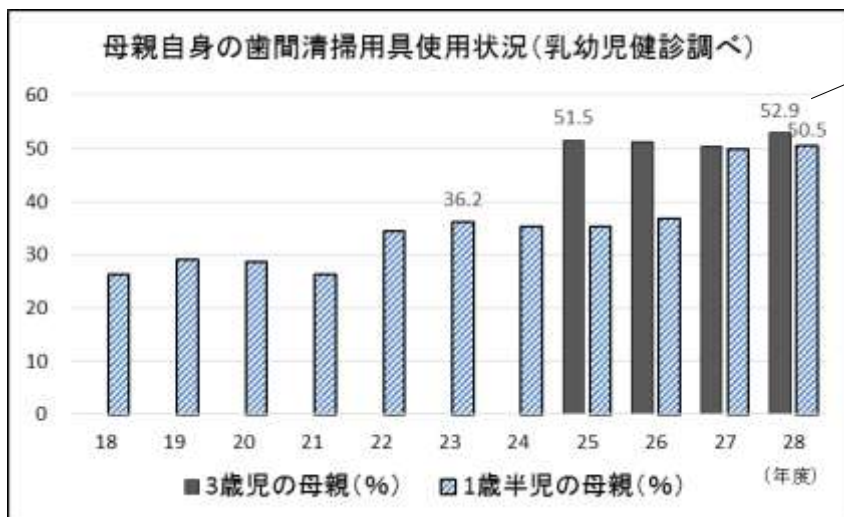
上の前歯が生えてきて、お隣の歯との間にすき間がなかったら……  
糸ようじの出番です。

歯と歯の間のプラーク(歯垢)は歯ブラシでは落とせません。

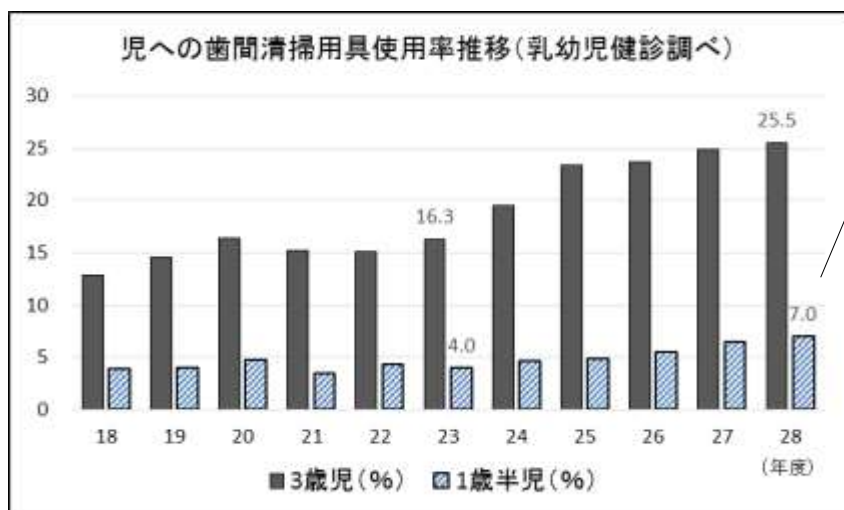
親が糸ようじを使ったことがない場合は、まずは御自身の歯と歯の間に使ってみることが大事です。十分に慣れてから、お子さんに使い始めます。



近年、1歳6か月児のお母様が、御自身の歯磨き時に糸ようじや歯間ブラシ(歯間清掃用具)をお使いになる割合が増加してきました。お子さんのむし歯予防だけでなく、御自身の歯周病予防にも大いに役立ちます。歯周病は自覚症状がほとんどないうちに静かに進行する病なので、若いうちからの効果的な口腔ケアが、歯周病を予防し歯の寿命を延ばします。



3歳児のお母様の御自身への使用率は、50%強。  
(H25年度より調査開始)  
1歳6か月児のお母様の御自身への使用率も、近年増加中です。



歯磨きを嫌がる1歳6か月児への使用も、徐々に増加中です。

1年半後の、ほぼ嫌がらずに歯磨きができるようになる3歳児への糸ようじの使用は、4人に1人が行っています。